

人づくりと産業振興の拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」 ロゴタイプ・シンボルマークが決定

大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業（施行者：独立行政法人都市再生機構）において、本市は「米百俵プレイス ミライエ長岡」の整備を進めています。

このたび、施設のロゴタイプ及びシンボルマークが決定しました。今後、施設のサインや各種プロモーションに活用していきます。

1 決定したロゴタイプ及びシンボルマーク



制作者：グラフィックデザイナー・廣村正彰氏
(株式会社廣村デザイン事務所代表取締役)



プロフィール・実績は
別紙のとおり

廣村正彰氏

2 廣村正彰氏のコメント

- ・6つの三角形は、長岡の学び・歴史・文化・産業・未来・交流を表しています。三角のピースを組み合わせ、ミライエ長岡の頭文字「M」をシンボルにしました。
- ・6色の多彩な色づかいは、未来をつくり出す明るい気持ちと多様性を表現しています。
- ・これらのピースは、図形パズルのように「M」以外にも様々な形へと変化させて展開することも想定しています。長岡の皆さんにも、このシンボルマークから新たな発見や着想を得て親しんでいただけたらうれしいです。
- ・「米百俵プレイス ミライエ長岡」が、地域の人たちから日常的に利用されることはもちろん、年齢、地域、国を問わず人々が交流、協力し、アイデアや夢が実現できる施設になることを期待しています。

3 決定までの経緯

大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業全体のサイン計画を担当した株式会社廣村デザイン事務所に制作を依頼。有識者からなる人づくり・学び・交流エリア名称選定委員会（委員長：長岡造形大学・水流潤太郎理事長）にて、同事務所が考案した3案について協議した結果、満場一致で当該案を選考。委員会での議論を踏まえ、市が最終決定しました。

○委員の意見

- ・色の明るさ、デザインの展開性、「人を育てる」という未来に向けたシンボルとして良い。
- ・多様性が求められる時代にあって、そのことが色で表現されており、かつ展開性もある。
- ・三角の組み合わせで、いろいろな形に展開できる点が評価できる。